

2023年度 事業報告

●公益目的事業

I ボウリングを通して、スポーツへの参加意欲を高める事業（公益目的事業1）

1. 日本商工会議所会頭杯争奪「第55回BPAJ全国ボウリング競技大会 Supported by オロナミンC」の主催

- ・主 管 （一社）北海道ボウリング場協会
- ・期 間 2023年6月2日（金）～4日（日）
- ・会 場 総合レジャーサンコーボウル
（都道府県対抗4人チーム戦・スペシャルオリンピックスの部）
厚別パークボウル（都道府県対抗3人チーム戦）
- ・参加数 都道府県対抗4チーム戦の部 69チーム（276名）
都道府県対抗3チーム戦の部 20チーム（60名）

2. 「いい夫婦の日・記念トーナメント部門」

経済産業省及び公益財団法人日本生産性本部の後援で実施された、「11.22いい夫婦の日・第25回キャンペーン」に参画し、全国の加盟センターで「いい夫婦の日・記念トーナメント部門」を実施した。

- ・参加センター 171 参加チーム数 2,584チーム（5,168人）

3. 「オリンピック・パラリンピック」へのボウリング種目採用の働きかけ

II 日本ボウリング史料館の設置・運営事業（公益目的事業2）

当協会設立以来収集した約160年にわたる歴史を持つわが国のボウリングの歴史、文化、仕組み等ボウリングに関する様々な資料、機器等を、「日本ボウリング史料館」として常設展示、運営を行っている。書籍は協会事務局（東京都）の一角に、その他の展示品はSTAR LIKE BOWL（茨城県）の一部を賃借して展示した。また、協会ホームページ上で「ボウリングミュージアム（Web史料館）」を運営した。

III 児童・生徒の健全育成事業（公益目的事業3）

コミュニケーションを深め、家族との絆を強めるスポーツであるボウリングを通して、児童・生徒にスポーツの楽しさを実感できるようにするとともに、安全な時間と場所を提供することを目的とする活動を行った。

1. 「ジュニアボウリング教室」の主催

(1) BPAJ・JPBA共催、スポーツ庁後援「2023年度 夏休み全国ジュニアボウリング教室」

- ・開催センター 36センター

- (2) BPAJ・JPBA共催「2023年度 冬休み全国ジュニアボウリング教室」
 - ・開催センター 14センター
 - (3) BPAJ・JPBA共催「2023年度 春休み全国ジュニアボウリング教室」
 - ・開催センター 13センター
2. ジュニア開放レーンの推進
 3. 「ミニ・ボウリング機」の普及
 4. 「こども110番のボウリング場」の推進

IV. 福祉活動事業（公益目的事業4）

1. 「第55回宮様チャリティーボウリング大会」の主催
 - ・主 管 関東ボウリング場協会
 - ・協 力 社会福祉法人友愛十字会、公益社団法人日本プロボウリング協会、公益財団法人全日本ボウリング協会、日本ボウラーズ連盟、全国実業団ボウリング連盟
 - ・期 間 2023年11月25日（土）～26日（日）
 - ・会 場 品川プリンスホテルボウリングセンター
 - ・参加数 一般男子の部 182名、一般女子の部 82名
障害者男子の部 50名、障害者女子の部 22名 <合計336名>
2. 「AED（自動体外式除細動器）」設置の推進
3. 幼児、高齢者、障害者への「簡易ボウリングキット」寄贈・貸し出し
4. 「メタボリックシンドローム対策」推進事業
全国の加盟センターで開催する「健康ボウリング教室」を主催するなど、国民の健康増進に寄与した。

V. 高齢者福祉活動事業（公益目的事業5）

高齢化社会が急速に進展する現在、高齢者の健康増進、身体機能の強化は社会の極めて重要な課題であり、高齢者の運動能力を向上させるために、スポーツへの参加意識を高めることを目的とした活動を行った。

1. 長寿ボウラー番付の発表
「令和5年度全国長寿ボウラー番付」
 - ・男性：80歳以上 4,056名
 - ・女性：75歳以上 5,308名 <合計9,364名>
 - ・夫婦：合計150歳以上 727組・1,454名

番付ポスターと広報資料はホームページ上にアップした。ポスターには警察庁・都道府県警察の「振り込め詐欺撲滅対策」への協力として、「標語」の掲載を行った。

2. ボウリングを通じての高齢者の運動能力向上に関する普及啓発

VI. ボウリング関係団体の公益目的活動への参加と支援事業（公益目的事業6）

ボウリングに関係する団体は、それぞれが公益を目的とした活動を実施しており、当協会はそれら関係団体が実施する公益目的事業のうち、当協会活動の趣旨に適合する事業であり、下記関係団体が実施する事業に積極的に参加し支援した。

- ・日本ボウリング機構（JBO）
- ・公益社団法人日本プロボウリング協会（JPBA）
- ・公益財団法人全日本ボウリング協会（JBC）
- ・日本ボウラーズ連盟（NBF）
- ・全国実業団ボウリング連盟（ABBF）
- ・ジャパンレディースボウリングクラブ（JLBC）
- ・公益財団法人スペシャルオリンピックス日本（S.O.日本）

●その他の事業（相互扶助事業）

VII. その他の事業（相互扶助事業）（その他事業1）

1. 全国ネット・テレビ放映の実現

2. 「ボウリングの日キャンペーン」の実施

(1) 江崎グリコ(株)との共同主催により、「家族ボウリングでとびっきりのベストスイル!

キャンペーン」をテーマに、プレゼント・キャンペーンを全国の加盟センターで実施した。

(2) 「小学生以下のジュニア無料キャンペーン」

6月22日(木)・ボウリングの日に、小学生以下のジュニアを無料対応するキャンペーンについて、時間帯もゲーム数も企業、センター、場協会の判断で任意にて実施した。

●管理部門

VIII. 管理部門

1. 会員の動向

(1) 会員企業数、会員センター数・レーン数及び加盟率

	2022年度期末 (令和5年3月31日)	2023年度期末 (令和6年3月31日)
会員企業数	227 社	217 社

区 分	2022年度末 (令和5年3月31日)		2023年度末 (令和6年3月31日)	
	センター数	レーン数	センター数	レーン数
加 盟	449	14,254	338	10,212
未 加 盟 (内付帯施設など)	217 (15)	5,024 (108)	317 (13)	8,632 (88)
合 計	666	19,278	655	18,844
加 盟 率	67.4%	73.9%	51.6%	54.19%

(2) 令和6年3月31日現在の賛助会員数 5社

2. 総会の開催
3. 理事会の開催
4. 総務委員会の開催
5. 事業委員会の開催
6. 拡大三役会議の開催
7. 令和6年賀詞交歓会の開催
8. 日本ボウリング機構（略称：JBO）の活動
9. 各団体との打ち合わせ
10. ボウリング発祥記念碑の維持管理
11. 表彰規程による表彰の実施
12. その他の組織団体への加盟・協調